


多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

○都内において麻しんの報告数が増加しています。
体調が悪い場合は無理をせず、十分な休息をとるようにしましょう。
○ゴールデンウィークを利用して外出をされる方もいらっしゃると思います。
手洗い・うがいなどの基本的な感染対策を続けるとともに、海外に渡航される方は渡航先の感染症情報もご確認ください。⇒  FORTH

保健所からのお知らせ

都内で麻しん（はしか）の報告が増加しています！

感染力が非常に強い麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
一度感染すると一生免疫が持続しますが、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。



麻しんの症状

約10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱、咳・鼻水などの気道症状、結膜炎（目の充血、めやに・涙）に続き、口内の頬粘膜にできる白い斑点（コプリック斑）や全身の発疹が出現します。



通常7～10日間程度で症状は徐々に回復します。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。
基本的には、発熱に対する解熱剤など症状に応じた治療を行います。



ポイント

有効な予防法は、**MRワクチン接種**です！
予防接種法に基づく定期予防接種が行われています。

発熱と発疹を同時に伴う病気は、特に小児期に多く、突発性発疹、溶連菌感染症、手足口病、水痘（水ぼうそう）などがあります。

発熱がいつからなのか、発疹がいつからどこに出たのかなど詳しい情報があると診断に役立ちます。



お知らせ

大型連休中の体調不良については、医療情報ネット「ナビ」で受診可能な医療機関を検索してください。

スマートフォンからアクセスする場合は、二次元コードをご利用ください。



なお、麻しん患者との接触があった場合は、**予約の際**に受診医療機関にお伝えください。